

下水道事業会計

目 次

我孫子市下水道事業会計決算審査意見	87
第1 審査を執行した監査委員名	87
第2 審査の対象	87
第3 審査の期間	87
第4 審査の場所	87
第5 審査の方法	87
第6 審査の結果	87
1 決算諸表について	87
(1) 予算の執行状況	88
ア 収益的収入及び支出	88
イ 資本的収入及び支出	89
2 経営状況について	90
(1) 経営成績	90
ア 業務実績	90
イ 事業収益と費用	91
ウ 収益率・効率性	93
(2) 財政状況	93
ア 資産・負債・資本	93
イ 財務分析	95
3 むすび	96
《決算審査資料》	
付表1 総収益総費用表	100
付表2 貸借対照表	102

凡 例

- ① 各表中の符号の用法は、次のとおりです。
 - 「△」…………… 減を示します。
 - 「－」…………… 該当数値のないものです。
 - 「0.0」…………… 該当数値はあるが表示単位未満のものです。
 - 「同規模平均」…… 令和2年度の処理区域内人口10万人以上15万人未満及び処理区域内人口密度75人／haの全国平均を示します（公共下水道事業）。
- ② 比率（％）は、小数点第2位を四捨五入して表示しました。

令和3年度 我孫子市下水道事業会計決算審査意見

第1 審査を執行した監査委員名

山口 幹夫
豊島 庸市

第2 審査の対象

令和3年度我孫子市下水道事業会計

第3 審査の期間

令和4年6月9日～令和4年6月27日

第4 審査の場所

我孫子市役所

第5 審査の方法

審査に付された決算書類が適法に作成され、事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているかどうかを検証するため、関係書類・証書類の提出を求め、決算計数は正確であるかに着目して、証書類を精査照合するとともに必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、慎重に審査した。

第6 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、下水道事業経営成績及び財政状況を適正に表示しており、計数も適正であると認める。

なお、予算の執行状況、経営成績及び財政状況について、その概要と意見は次に述べるとおりである。

(1) 予算の執行状況

ア 収益的収入及び支出

収入

(単位：円・%)

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
営業収益	1,548,361,000	1,557,228,572	100.6	1,535,459,000	1,559,502,262	101.6
営業外収益	1,196,101,000	1,192,424,866	99.7	1,331,629,000	1,412,627,742	106.1
特別利益	167,434,000	167,434,734	100.0	0	2,069,932	—
合 計	2,911,896,000	2,917,088,172	100.2	2,867,088,000	2,974,199,936	103.7

(消費税込数値)

収益的収入予算現額 2,911,896,000 円に対して、決算額は 2,917,088,172 円となり、執行率は 100.2% となった。

決算額は前年度と比較して、営業収益は 2,273,690 円 (0.1%) 減少し、営業外収益は 220,202,876 円 (15.6%) 減少となり、特別利益は 165,364,802 円 (7988.9%) 増加した。収益的収入の決算額は、前年度と比較して、57,111,764 円 (1.9%) 減少となった。

支出

(単位：円・%)

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
営業費用	2,430,498,000	2,409,048,577	99.1	2,408,286,000	2,474,318,757	102.7
営業外費用	188,970,000	177,668,034	94.0	204,351,000	192,504,889	94.2
特別損失	610,000	609,423	99.9	36,512,000	24,089,832	66.0
予備費	18,174,000	0	0	10,798,000	0	0
合 計	2,638,252,000	2,587,326,034	98.1	2,659,947,000	2,690,913,478	101.2

(消費税込数値)

収益的支出予算現額 2,638,252,000 円に対して、決算額は 2,587,326,034 円となり、執行率は 98.1% となった。

営業費用の決算額は前年度と比較して 65,270,180 円 (2.6%) 減少し、営業外費用も 14,836,855 円 (7.7%) 減少した。特別損失の決算額は前年度と比較して 23,480,409 円 (97.5%) 減少した。

なお、収支の差額 329,762,138 円が収入超過となった。

イ 資本的収入及び支出
収入

(単位:円・%)

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
企 業 債	1,036,400,000	596,300,000	57.5	1,078,928,000	684,928,000	63.5
他 会 計 出 資 金	93,242,000	93,242,000	100.0	96,852,000	96,852,000	100.0
他 会 計 補 助 金	250,620,000	250,620,000	100.0	249,848,000	249,848,000	100.0
国 庫 補 助 金	466,400,000	310,691,000	66.6	266,722,000	132,822,000	49.8
負 担 金 等	4,014,000	6,473,680	161.3	21,102,000	22,612,020	107.2
その他資本的収入	0	0	0	100,000	0	0
合 計	1,850,676,000	1,257,326,680	67.9	1,713,552,000	1,187,062,020	69.3

(消費税込数値)

資本的収入予算現額 1,850,676,000 円に対して、決算額は 1,257,326,680 円となり、執行率は 67.9%となった。

企業債の決算額は、前年度と比較して 88,628,000 円 (12.9%) 減少し、他会計出資金も 3,610,000 円 (3.7%) 減少した。他会計補助金は 772,000 円 (0.3%) 増加し、国庫補助金も 177,869,000 円 (133.9%) 増加した。負担金等は、16,138,340 円 (71.4%) 減少した。

支出

(単位:円・%)

区 分	令和3年度			令和2年度		
	予算現額	決算額	執行率	予算現額	決算額	執行率
建 設 改 良 費	1,591,951,000	944,680,110	59.3	1,171,293,000	605,190,997	51.7
固 定 資 産 購 入 費	449,000	411,092	91.6	16,610,000	15,926,728	95.9
企 業 債 償 還 金	898,123,000	898,121,278	100.0	1,167,447,000	1,167,446,423	100.0
予 備 費	10,000,000	0	0	9,950,000	0	0.0
合 計	2,500,523,000	1,843,212,480	73.7	2,365,300,000	1,788,564,148	75.6

(消費税込数値)

資本的支出予算現額 2,500,523,000 円に対して、決算額は 1,843,212,480 円となり、執行率 73.7%となった。

なお資本的収支不足額(翌年度に繰り越される支出の財源に充当する収入額 38,893,200 円を除いた不足額)624,779,000 円が生じたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 41,033,603 円、繰越工事資金 22,086,000 円、当年度分損益勘定留保資金 330,434,079 円、減債積立金 125,000,000 円、繰越利益剰余金処分額 4,835,245 円及び当年度分利益剰余金処分額 101,390,073 円で補てんされている。

2 経営状況について

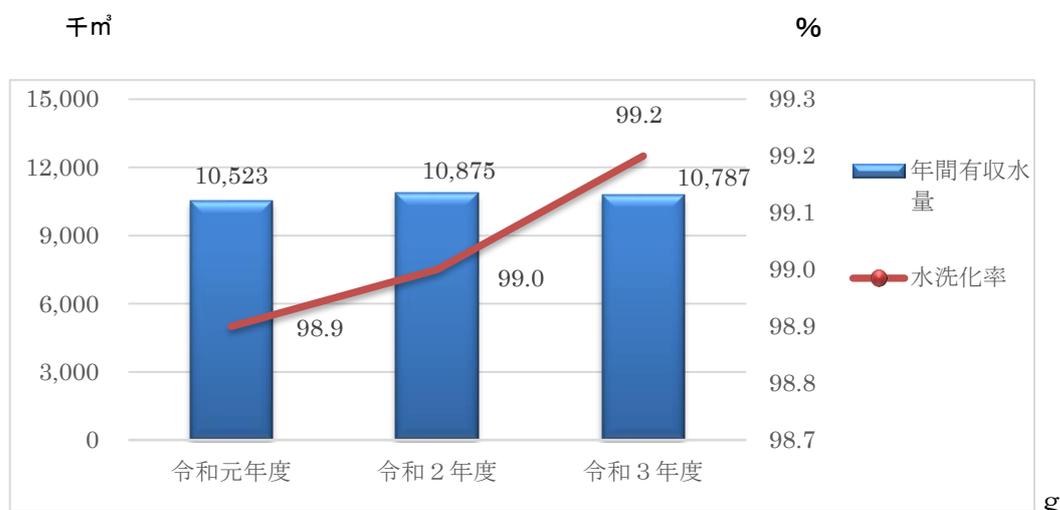
(1) 経営成績

ア 業務実績

区 分	令和3年度	令和2年度	対前年度		備 考
			増減	比較 (%)	
処 理 面 積 ha	1,331.79	1,330.30	1.5	100.1	
行政区域内人口 人	131,147	131,559	△ 412	99.7	
排水区域内人口 人	111,075	111,313	△ 238	99.8	
水洗化人口 人	110,208	110,217	△ 9	100.0	
普 及 率 %	84.7	84.6	0.1	100.1	$\frac{\text{排水区域内人口}}{\text{行政区域内人口}} \times 100$
水 洗 化 率 %	99.2	99.0	0.2	100.2	$\frac{\text{水洗化人口}}{\text{排水区域内人口}} \times 100$
年 間 有 収 水 量 m ³	10,787,212	10,875,351	△ 88,139	99.2	
一 日 平 均 有 収 水 量 m ³	29,554	29,795	△ 241	99.2	

業務実績については、排水区域内人口 111,075 人となり前年度と比較して 238 人 (0.2%) 減少した。行政区域内人口に対する普及率は 84.7%と前年度と比較して 0.1%増加し、水洗化率は 99.2%と前年度と比較して 0.2%増加している。年間有収水量については、10,787,212 m³と前年度より 0.8%減少している。

年度別年間有収水量及び水洗化率



イ 事業収益と費用 事業収益

(単位:円・%)

区 分	令和3年度		令和2年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比
営 業 収 益	1,422,523,999	51.1	1,424,214,814	50.2
下 水 道 使 用 料	1,348,722,999	48.5	1,354,558,614	47.8
雨 水 処 理 負 担 金	73,446,000	2.6	69,344,000	2.4
そ の 他 営 業 収 益	355,000	0.0	312,200	0.0
営 業 外 収 益	1,192,490,550	42.9	1,412,699,689	49.7
他 会 計 補 助 金	184,859,000	6.7	387,306,000	13.6
長 期 前 受 金 戻 入	1,007,356,669	36.2	1,025,205,462	36.1
雑 収 益	274,881	0.0	188,227	0.0
特 別 利 益	167,434,734	6.0	2,069,932	0.1
過 年 度 損 益 修 正 益	167,434,734	6.0	2,069,932	0.1
合 計	2,782,449,283	100.0	2,838,984,435	100.0

(消費税抜き数値)

事業費用

(単位:円・%)

区 分	令和3年度		令和2年度	
	金 額	構成比	金 額	構成比
営 業 費 用	2,319,518,865	93.1	2,379,984,488	92.2
管 渠 費 (汚 水)	42,210,600	1.7	52,435,580	2.0
管 渠 費 (雨 水)	4,394,000	0.2	4,717,000	0.2
ポンプ場費(汚水)	8,821,414	0.4	6,408,239	0.3
ポンプ場費(雨水)	16,743,136	0.7	15,870,156	0.6
流 域 下 水 道 費	715,659,939	28.7	768,847,076	29.8
普 及 指 導 費	663,893	0.0	522,543	0.0
業 務 費	95,322,765	3.8	92,628,615	3.6
総 係 費 (汚 水)	91,584,218	3.7	80,022,273	3.1
総 係 費 (雨 水)	6,456,819	0.3	5,893,400	0.2
減 価 償 却 費	1,337,662,081	53.6	1,352,639,606	52.4
営 業 外 費 用	173,647,655	6.9	175,570,857	6.8
支 払 利 息	145,631,758	5.8	162,956,392	6.3
雑 支 出	28,015,897	1.1	12,614,465	0.5
特 別 損 失	554,228	0.0	24,044,449	1.0
過 年 度 損 益 修 正 損	554,228	0.0	1,543,780	0.1
そ の 他 特 別 損 失	0	0.0	22,500,669	0.9
合 計	2,493,720,748	100.0	2,579,599,794	100.0

(消費税抜き数値)

今年度は、総収益と総費用ともに前年度に比べて減少した。収支では前年度と比べて29,397,894円(11.3%)増加し、今年度は288,728,535円が純利益となった。

総収益は2,782,449,283円で、前年度と比べて56,535,152円(2.0%)の減収である。増減の主な内訳は、他会計補助金が202,447,000円(52.3%)減少し、過年度損益修正益が165,364,802円(7988.9%)増加した。

総費用は2,493,720,748円で、前年度と比べて85,879,046円(3.3%)減少した。増減の主な内訳は、流域下水道費53,187,137円(6.9%)の減少、その他特別損失が22,500,669円(皆減)となり、雑支出が15,401,432円(122.1%)

増加している。

ウ 収益率・効率性

(単位: %・円)

区 分	令和3年度	令和2年度	同規模平均 (令和2年度)	算 式
経常収支比率(%)	104.9	111.0	110.8	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
経費回収率(%)	82.5	81.9	101.0	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$
汚水処理原価(円)	150.1	150.4	117.2	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$

(消費税抜き数値)

経常収支比率は、経常収益と経常費用を対比して収益率を示す指標で、100%以上が望ましく、104.9%と100%を超えている。

また、経費回収率は、汚水処理費をどの程度下水道使用料で賄っているかを示し、この指標が100%以上となっていることが望ましいが、前年度の81.9%より上昇したものの82.5%と100%を下回っている。

なお、汚水処理に係るコストを表した指標である汚水処理原価をみると150.1円となっており、同規模平均の117.2円よりコストが高くなっている。

(2) 財政状況

ア 資産・負債・資本

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
固 定 資 産	35,226,967,889	固 定 負 債	10,777,361,735
流 動 資 産	472,489,536	流 動 負 債	1,146,251,081
		繰 延 収 益	21,746,274,071
		資 本 金	465,346,167
		剰 余 金	1,564,224,371
資 産 合 計	35,699,457,425	負 債・資 本 合 計	35,699,457,425

(消費税抜き数値)

(ア) 資産 (付表 2 参照)

資産は 35,699,457,425 円で、前年度と比較して、331,414,758 円(0.9%)減少した。資産の内訳は、次のとおりである。

・ 固定資産

固定資産は 35,226,967,889 円で、前年度と比較して、434,715,817 円(1.2%)減少した。これは主に「有形固定資産の減少によるものである。

・ 流動資産

流動資産は 472,489,536 円で、前年度と比較して、103,301,059 円(28.0%)増加している。これは主に現金預金の増加である。

(イ) 負債 (付表 2 参照)

負債は、33,669,886,887 円で、前年度と比較して、713,385,293 円(2.1%)減少した。負債の内訳は、次のとおりである。

・ 固定負債

固定負債は 10,777,361,735 円で、前年度と比較して、303,716,313 円(2.7%)減少した。これは主に建設改良費等の財源に充てるための企業債のうち1年を超えて償還するものが減少したためである。

・ 流動負債

流動負債は 1,146,251,081 円で、前年度と比較して 30,870,968 円(2.8%)増加し、主に一時借入金の増加である。

・ 繰延収益

21,746,274,071 円で、前年度と比較して 440,539,948 円(2.0%)減少し、主に長期前受金収益化累計額の減少である。

(ウ) 資本

資本は、2,029,570,538 円で、前年度と比較して 381,970,535 円(23.2%)の増加である。資本の内訳は、次のとおりである。

・資本金は 465,346,167 円で、前年度と比較して 222,791,396 円(91.9%)増加し、主に組入資本金の増加によるものである。

・剰余金は 1,564,224,371 円で、前年度と比較して 159,179,139 円(11.3%)増加し、主に利益剰余金の増加である。

イ 財務分析

(単位:%)

区 分	令和3年度	令和2年度	同規模平均 (令和2年度)	算 式
流 動 比 率	41.2	33.1	61.5	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}} \times 100$
企業債残高対 事業規模比率	471.4	471.3	528.7	$\frac{\text{企業債現在高合計}-\text{一般会計負担額}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}-\text{雨水処理負担金}} \times 100$

(消費税抜き数値)

流動比率は、短期債務に対して応ずべき流動資産が十分にあるかどうかを示す指標で100%以上が望ましいが、41.2%となっており、同規模平均の61.5%も下回っている。

企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の規模を表す指標だが、471.4%となっており、同規模平均の528.7%より下回っている。

3 むすび

令和3年度の決算状況をまとめると、以下のとおりである。

(1) 業務実績

令和4年3月末時点での排水区域内人口は111,075人となり、前年度と比べ238人(0.2%)減少し、行政人口に対する普及率は84.7%となった。

年間有収水量は前年度に比べ88,139 m³ (0.8%)減少した。

建設・改良事業については、未普及対策事業として下水道整備五カ年計画に基づき、下ヶ戸西側地区、湖北駅北口西側地区、湖北駅北口東側地区の下水道整備を進めるとともに、久寺家1・2丁目地区の幹線整備を行った。また、浸水対策事業として、布佐排水区について雨水幹線整備工事(3工区)、若松地区については雨水管整備工事(第4排水区(2工区)及び第4排水区(3-1工区))、柴崎排水区については雨水幹線整備工事(2工区)(3か年継続事業の2年目)を実施した。地震対策事業においては、下水道総合地震対策計画に基づき、布佐地区、湖北台地区、久寺家地区のマンホール浮上防止工事及び避難所に指定されている我孫子市立湖北台西小学校、我孫子市立布佐南小学校のマンホールトイレ設置工事を実施した。ストックマネジメント事業として、下水道ストックマネジメント計画に基づき、若松地区、青山台地区の下水道改築工事に向けた実施設計を行った。

(2) 経理状況(消費税込み表示)

イ 収益的収支

収益総額2,917,088,172円に対し、費用総額は2,587,326,034円で、差し引き329,762,138円の純利益が生じた。

ロ 資本的収支

収入総額は1,257,326,680円で、内訳は、企業債が596,300,000円、他会計出資金が93,242,000円、他会計補助金が250,620,000円、国庫補助金が310,691,000円、負担金等が6,473,680円であった。

支出総額は1,843,212,480円で、内訳は建設改良費が944,680,110円、固定資産購入費が411,092円、企業債償還金が898,121,278円であった。

資本的収支決算額で624,779,000円の資本的収支不足額が生じたが、

この不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 41,033,603 円、繰越工事資金 22,086,000 円、当年度分損益勘定留保資金 330,434,079 円、減債積立金 125,000,000 円、繰越利益剰余金処分額 4,835,245 円及び当年度分利益剰余金処分額 101,390,073 円で補てんされた。

令和 3 年度の決算状況を消費税抜きの金額で見ると、事業収入については営業収益 1,422,523,999 円、営業外収益 1,192,490,550 円及び特別利益 167,434,734 円で総収益額 2,782,449,283 円となり、事業費用では、営業費用 2,319,518,865 円、営業外費用 173,647,655 円及び特別損失 554,228 円で総費用が 2,493,720,748 円となった。

令和 3 年度下水道事業全体の当年度純利益では、288,728,535 円（対前年度比 11.3%）の黒字になったものの、下水道事業の根幹をなす営業収支を見ると 896,994,866 円（対前年度比△6.2%）の営業損失となり、これを営業外収支で補っている状況であるため、下水道事業経営については依然として厳しい状況が続いている状況である。

さらに、令和 2 年度から公営企業会計をスタートしたが、期中の資金不足から一時借入を余儀なくされている状況が続いていることから、地方公営企業の財政的基盤の強化や経営の効率化・安定化を図るために、一般会計から資本を調達するなど、早期に対応策を協議検討することも必要であると考える。

今後も、新型コロナウイルス感染症の長期化による影響や社会経済情勢の変化に応じ、将来の更新需要や収益状況に的確に対応していくため、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」に基づいた健全な事業運営を望む。

決 算 審 查 資 料

付表 1

総収益総費用表

収 益 (単位：円・%)

区 分	令和 3 年度			令和 2 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
営業収益	1,422,523,999	51.1	99.9	1,424,214,814	50.2	—
下水道使用料	1,348,722,999	48.5	99.6	1,354,558,614	47.8	—
雨水処理負担金	73,446,000	2.6	105.9	69,344,000	2.4	—
その他営業収益	355,000	0.0	113.7	312,200	0.0	—
営業外収益	1,192,490,550	42.9	84.4	1,412,699,689	49.7	—
他会計補助金	184,859,000	6.7	47.7	387,306,000	13.6	—
長期前受金戻入	1,007,356,669	36.2	98.3	1,025,205,462	36.1	—
雑収益	274,881	0.0	146.0	188,227	0.0	—
特別利益	167,434,734	6.0	8088.9	2,069,932	0.1	—
過年度損益修正益	167,434,734	6.0	8088.9	2,069,932	0.1	—
総収益	2,782,449,283	100.0	△ 2.0	2,838,984,435	100.0	—

(消費税抜き数値)

令和 2 年度から公営企業会計に移行したため、前年比は令和 3 年度から記載。

付表 1

総収益総費用表

費 用 (単位：円・%)

区 分	令和 3 年度			令和 2 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
営業費用	2,319,518,865	93.1	97.5	2,379,984,488	92.2	—
管渠費（污水）	42,210,600	1.7	80.5	52,435,580	2.0	—
管渠費（雨水）	4,394,000	0.2	93.2	4,717,000	0.2	—
ポンプ場費（污水）	8,821,414	0.4	137.7	6,408,239	0.3	—
ポンプ場費（雨水）	16,743,136	0.7	105.5	15,870,156	0.6	—
流域下水道費	715,659,939	28.7	93.1	768,847,076	29.8	—
普及指導費	663,893	0.0	127.1	522,543	0.0	—
業務費	95,322,765	3.8	102.9	92,628,615	3.6	—
総係費（污水）	91,584,218	3.7	114.4	80,022,273	3.1	—
総係費（雨水）	6,456,819	0.3	109.6	5,893,400	0.2	—
減価償却費	1,337,662,081	53.6	98.9	1,352,639,606	52.4	—
営業外費用	173,647,655	6.9	98.9	175,570,857	6.8	—
支払利息	145,631,758	5.8	89.4	162,956,392	6.3	—
雑支出	28,015,897	1.1	222.1	12,614,465	0.5	—
特別損失	554,228	0.0	2.3	24,044,449	1.0	—
過年度損益修正損	554,228	0.0	35.9	1,543,780	0.1	—
その他特別損失	0	0	皆減	22,500,669	0.9	—
総費用	2,493,720,748	100.0	96.7	2,579,599,794	100.0	—

(消費税抜き数値)

* 構成比は、総費用を100としての比率

附表 2

貸借対照表

(単位：円・%)

区 分	借			方		
	令和3年度			令和2年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
固定資産	35,226,967,889	98.7	98.8	35,661,683,706	99.0	-
有形固定資産	31,808,059,822	89.1	99.1	32,108,641,894	89.1	-
無形固定資産	3,415,908,067	9.6	96.2	3,550,041,812	9.9	-
投資	3,000,000	0.0	100.0	3,000,000	0.0	-
流動資産	472,489,536	1.3	128.0	369,188,477	1.0	-
現金預金	172,078,903	0.5	192.2	89,518,718	0.3	-
未収金	215,505,556	0.6	93.1	231,466,985	0.6	-
未収金貸倒引当金	△ 1,264,923	0.0	105.7	△ 1,197,226	0.0	-
前払金	86,170,000	0.2	174.4	49,400,000	0.1	-
資産合計	35,699,457,425	100.0	99.1	36,030,872,183	100.0	-

(消費税抜き数値)

令和2年度から公営企業会計に移行したため、前年比は令和3年度から記載。

付表 2

貸借対照表

(単位：円・%)

区 分	貸 方					
	令和 3 年度			令和 2 年度		
	決算額	構成比	前年比	決算額	構成比	前年比
負債	33,669,886,887	94.3	97.9	34,383,272,180	95.4	—
固定負債	10,777,361,735	30.2	97.3	11,081,078,048	30.7	—
企業債	10,777,361,735	30.2	97.3	11,081,078,048	30.7	—
流動負債	1,146,251,081	3.2	102.8	1,115,380,113	3.1	—
一時借入金	200,000,000	0.6	133.3	150,000,000	0.4	—
企業債	900,016,313	2.5	100.2	898,121,278	2.5	—
未払金	35,735,918	0.1	64.7	55,248,355	0.2	—
引当金	9,830,000	0.0	86.5	11,361,000	0.0	—
預り金	668,850	0.0	103.0	649,480	0.0	—
繰延収益	21,746,274,071	60.9	98.0	22,186,814,019	61.6	—
長期前受金	23,778,836,202	66.6	102.4	23,212,019,481	64.4	—
長期前受金収益化累計額	△ 2,032,562,131	△ 5.7	198.3	△ 1,025,205,462	△ 2.8	—
資本	2,029,570,538	5.7	123.2	1,647,600,003	4.6	—
資本金	465,346,167	1.3	191.9	242,554,771	0.7	—
固有資本金	145,702,771	0.4	100.0	145,702,771	0.4	—
出資金	190,094,000	0.5	196.3	96,852,000	0.3	—
組入資本金	129,549,396	0.4	皆増	-	-	—
剰余金	1,564,224,371	4.4	111.3	1,405,045,232	3.9	—
資本剰余金	1,145,660,591	3.2	100.0	1,145,660,591	3.2	—
利益剰余金	418,563,780	1.2	161.4	259,384,641	0.7	—
負債資本合計	35,699,457,425	100.0	99.1	36,030,872,183	100.0	—

(消費税抜き数値)